

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No5
平成24年5月15日

桜小学校では、「あいさつ・返事・はきものそろえ」を全校児童が生活の具体的な生活のめあてとして取り組んでいます。その中で、あいさつに関しては、「**あいさつは、人より先に自分から！**」「**相手より大きな声で**」ということを常に意識しながら、取り組んでいきたいと考えています。

「おはようございます」の9文字の中で、特にはっきり発音しなければいけないのはどの文字だと思いますか。正解は、「は」の字です。「は」の字をはっきり、大きな声で言うと、気持ちのこもったあいさつになります。しかも、叫ぶのではなく、「**笑顔でさわやかに**」をモットーにあいさつができるとう素晴らしいと思います。

ところで、あいさつの効果＝メリットを考えてみると、どんなことが思い浮かぶでしょうか。次のような効果を考えてみました。

- ・自分の調子（体調）を知ることができる。
- ・自分を元気にしてくれる。
- ・存在感をアピールできる。
- ・多くの人と知り合える。
- ・相手の理解を得られる。
- ・相手の様子を理解できる。



登下校でもあいさつを！

全校朝礼の話より（5月14日）

「おはようございますの『ございます』」

俳優さんや歌手などの芸能人や放送関係者は、昼でも夜でも、その日初めて会う人には、「おはようございます」とあいさつをします。おもしろいですね。これってどうしてでしょうか？
あいさつには、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」がありますが、「おはよう」だけには、相手を大事にする意味がある「ございます」が付きまします。

そこで、相手（お客様）を大事にするという思いをこめて「おはようございます」を芸能界では、朝、昼、夜いつも使うようになったと言われていました。（松竹芸能の先々代の社長さんが提案したと言われていたそうです。）

では、どうして「おはよう」だけに、「ございます」を付けるようになったのでしょうか？
それは「歌舞伎（かぶき）」から来ていると言われていました。「歌舞伎（かぶき）」というのは、初めて聞く言葉ですね。400年くらい前から始まった日本の伝統的なお芝居です。派手な服装とお化粧が特徴です。テレビや本で見たことがある人もいるかもしれません。

さて、歌舞伎の役者さんは、派手なお化粧とか衣装の準備に時間がかかるので、かなり早めに劇場（芝居小屋）に入場したそうです。その際、劇場の「楽屋番（がくやばん）」と呼ばれる裏方さんが、この役者さんたちに対して、いつも「お早ようございますね。」と声をかけていました。

これは『出番までまだ時間があるのに、お早いお着きでございますね。ご苦労様でございます』という意味です。

元々この言葉には「あいさつ」というよりも、むしろ「気遣い」の気持ちが含まれていたのです。そして、この「お早ようございますね」がいつしか「おはようございます」に変化していったとも言われています。

みなさんも、「おはようございます」を相手のことを大事にするあいさつとして、心を込めてあいさつを試してみましょう。